

東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.29 2011年4月22日

石川民医連事務局

TEL 076-253-1458

第7次隊 23日出発

23日(土)朝8時に出発します。柳沢先生、中村美津子さん、谷口明美さん(寺井)、佐野高大さん、松田健志さん、津田聖香さん(歯科)の6人。松浦



先生も東京経由で合流します。第6次隊の4人は23日夕方帰還の予定です。

♪ 橋爪さんのレポート ♪

21日今日も昨日に引き続き、多賀城市立体育館で支援活動を行った。午前中の足浴来場者数は、15人と少なめだった。午後は28人といつもどおりの人数だった。足浴スタッフが今日は7人と少数だったが、強力なチームワークでスムーズに乗り切ることができた。血糖値の高い80歳代男性…医師より「一日2回の足浴」という処方を出され、連日午前・午後と来られている。これまでより眠りが深くなり、朝の目覚めがよい。血圧が30も下がった。足浴に来るようになってから、鬱症状が治った…と、嬉しそうに語ってくれた。

避難所の食事の問題、野菜、たんぱく質が足りない。食事の形態も選択肢がない(入れ歯のない人、胃腸の弱い人等に固いものしか出していない。支援物質の配給+α程度)。市に改善要求しているが、なかなか応じてくれない。

避難所で火を使うことができれば、みんなで調理できるのだが…火事の危険があるという理由で使用禁止になっている。

明日で終了となるため、今日は業務のあと引き継ぎマニュアルを作成した。

ラスト一日、精一杯働きたいと思う。

♪ 西村咲さんのレポート ♪

20日AM は坂HP処置室、PM 避難所訪問(山王公民館) 小規模の避難所でした。子どもが多い所みたいです。この日は炊き出し、警察、資生堂のハンドケア、大道芸など様々なボランティアや支援が入っていて、医療のニーズは少なかったもので、何人かと対話をしてきました。高齢者は避難所生活は布団も食事も満足でなくつらいと言われていました。

88歳のおばあちゃんは「地震も津波も大変だった。でも津波のおかげで気付いた幸せもあるよ。こんなにたくさんの人たちがみんなを支え合えて、こんなにたくさんの方が私たちを支えてくれる。本当にありがたいんです。」と話されていました。

移動中タクシーの運転手さんは、3月に結婚したばかりの同僚が今回の災害で亡くなったとのことで、「結婚祝いが香典になってしまった。身近にこんなことがあるとやっぱりつらい。」と涙を流していました。また、「みんなに実際にこの災害を災害地を見てほしい。私もTVで見ても大変だとは思ったけれど、実際に七ヶ浜や街を見て初めて苦しくて涙が出た。実際に見ないと何もわからないよ。」とっていました。21日AM 坂HP処置室、PM 避難所訪問(多賀城市総合体育館)中には配給だけとりに避難所に来られる方もいて、避難所には支援がくるけど、家には来てくれないから…と言われていました。地域訪問をはじめ、地域での生活支援はこの時期の課題のようです。

